

2019年9月10日

株式会社三菱UFJ銀行

独立行政法人住宅金融支援機構の発行するグリーンボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 みけ かねつぐ 三毛 兼承、以下 当行）は、本日、独立行政法人住宅金融支援機構が発行するグリーンボンド(以下 住宅金融機構グリーンボンド)「一般担保第271回住宅金融機構債券」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

住宅金融支援機構では、フラット35^[1]のうち、省エネルギー性や耐震性など質の高い住宅を取得する場合に、借入金利を一定期間引き下げるフラット35Sを実施しています。住宅金融機構グリーンボンドは、フラット35Sのうち「省エネルギー性に関する技術基準」を満たす新築住宅を対象としており、これらの住宅ローン債権の買取を目的としております。

2019年1月に発行された住宅金融機構グリーンボンドは、環境省の「平成30年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例」として選定され、「グリーンボンドガイドライン2017年版」に適合していることが確認されています。本債券も同一のフレームワークで発行されます。

当行は、本債券への投資を通じ、良質な住宅の普及を促進すると同時に、責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	一般担保第271回住宅金融機構債券
年限	10年
発行額	200億円
発行日	2019年9月18日

[1] 住宅金融支援機構が民間金融機関と提携して提供している全期間固定金利の住宅ローン

以上